

第70号
 編集 真玉 編集 部
 発行所 川崎市立川崎高等学校同窓会
 〒210-0806
 川崎市川崎区中島3-3-1
 責任者 野村 智
 印刷所 小 杉 印

真玉



卒業した川崎区内の中学校で同窓会会長をしていま... 毎年の体育祭では、閉会式に同窓会から生徒への記念品贈呈を行います。朝礼の上で挨拶をした後、生徒代表に学校名と校章の入ったノートを渡して... コロナ禍において、来賓をお招きできない状況であっても主催者側の立場として学校行事に参加できるように、本当にありがとう、いつも感謝の気持ち

同窓会総会・懇親会 本年度も中止に

新型コロナウイルス感染症の流行四年目に！
 今だ出口が見えない状況が続くので

会員の皆さま、先生方がお過ごしでしょうか。二〇二三年がスタートし新型コロナウイルス感染症が国内で確認されたから四年目に突入いたしました。(中国で初めて確認されたから五年目)しかし、世の中は少しずつ日常を取り戻しつつあります。一日も早いコロナ禍以前の日常に戻れますことを願っています。

さて、新年早々大阪の淀川にマッコウクジラの「淀ちゃん」が迷い込み、世間を騒がせました。残念ながら太平洋に戻ることもなく亡くなってしまいました。無くなって欲しい新型コロナウイルス感染症は無くなるところか、世界中に蔓延し、新しい変異株の感染者も国内で報告されています。国内の死者数も六万人を超え(一月十日現在)一月十三日の報道によると、昨年十二月には月別死者数が九百人を超え過去最多となり...

新役員紹介

前回に引き続き、役員会にて決定をさせていただきますので「了承ください」の旨を申し上げます。

名譽会長 岩木 正志 校長
名譽副会長 五十嵐章浩 副校長
会長 田中 弘司 教頭
副会長 野村 智(五十四年卒)
副会長 江守千恵子(二十七年卒)
友澤 瑞恵(五十六年卒)
古谷 貴史(平十七年卒)

書記 三谷 輝夫(三十九年卒)
 城戸せつ子(五十年卒)
関口 大心(令二年卒)

会計 秋田 結子(五十四年卒)
 友澤 瑞恵(五十六年卒)
 河野 朋子(平十一年卒)
会計監査 笹沼 暁一(三十七年卒)
 寺地美恵子(三十八年卒)
顧問 藤野 博(旧職員)
 若山 昇(旧職員)
 藤山 昭子(現職員)

佐藤 康徳 (現職員)
伊藤三千代 (事務局)

以上十九名(兼任含む)が選出されました。二年間よろしくお願いたします。

外会の会長職が増え、欠席が増えて迷惑をかけておられます。毎年四月二十九日には出席して五万円を寄付をさせていただきます。今後とも川高同窓会の益々の発展を祈念し私の挨拶とさせていただきます。

城戸 せつ子 五十年卒
 同窓会役員として二年目で母校には百十年「真玉」には七十年の積み重ねがあること。私は卒業してから来年で半世紀です。一緒に頑張ります。

秋田 結子 五十四年卒
 楽しい記憶ばかりの高校生活。時を経て今、本校に関わることで、新たな気持ちで同窓生としての活動をしていけたらと思います。

友澤 瑞恵 五十六年卒
 今回副会長兼会計を担わせていただくことになりました。幹事を含め三十年同窓会に関わらせていただき、その知識が少しでも役に立てられればと思います。宜しくお願いたします。

河野 朋子 平十一年卒
 私は会計の河野です。平成十一年卒業です。なかなか参加が出来ないのですが、周りの方々の力添えをいただながら一員でいさせてください。よろしくお願いたします。

古谷 貴史 平十七年卒
 これから、もっと若い役員が増え、少しくもお手伝いが出来ればと思います。入会させていただきます。最初は必ず出席していただくのが私です。

でいっばい。同窓会を担っている教務主任の先生が出席に間に合うように閉会式の開始予定時刻を知らせてくれました。後輩たちの活躍や学校の様子が見たいので開会式前の整列に間に合うように出かけ校長先生の挨拶やPTA会長さんのお話も含め、全ての種目を見ています。自分が中学生の時に教室で帰りがけに同じようなノートをもらったこと、その後輩の孫のような子どもたちが当時と同じ文化を共有してくれていることをうれしく思う瞬間です。

会員の皆様には、いつも同窓会を支援いただきありがとうございます。心から感謝申し上げます。ありがとうございます。役員改選時期でもあり「今年こそは」と意気込んで昨年十二月から準備を進めてきた四月の残りな令和四年度のスタートとなりました。

トと取りました。挨拶が遅くなりましたが、中島光枝会長がご勇退された後を引き継ぎ、今年度から川崎市立川崎高等学校同窓会会長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

同窓会役員として、平成十年の小川良子会長の時代からお世話になっております。

小学校長をしていますが一週間に一回、三年生の教室で社会科の授業をしています。同じ川崎市内でも母

校とは地域の様子が大きく異なってきた中で育つ子どもを連れ、昨年七月にバスで「川崎市内めぐり」に出かけました。川崎港、浮島工場地帯、建設中の川崎市役所と見学した後に母校の前を通りかかった時、子どもたちから「ここは何ですか?」という質問をされました。小学生の子どもたちが見たこともない立派な校舎を誇りに思った瞬間でした。

「真玉」の歴代会長就任挨拶に「同窓会をよろしく」という見出しがいついていたのを思い出します。これからも、同窓会をどうぞよろしくお願いたします。

新役員あいさつ
 会長あいさつは「同窓会をよろしく」をテーマに。笹沼 暁一 三十七年卒
 同窓会の役員として二十年以上関わって来た。これからの同窓会を担ってくださる方にバトンをお渡ししたいと思っております。寺地 美恵子 三十八年卒
 同窓会会員の皆様お元気でお過ごしでしょうか?いつも協力頂きありがとうございます。三谷 輝夫 三十九年卒
 会計監査、真玉三書を担当しております。三面記事が新型コロナウイルス感染症拡大の投稿があり、感染予防に注意し、同窓会、クラス会等集まりがありましたら「真玉」への投稿をよろしくお願いたします。

定時制課程の歩み
 女学校としてスタートした本校に、昭和二十三年、定時制課程として「昼間部・夜間部」家庭科が開設されました。この年の生徒数は昼間部・夜間部を合わせて七十名と記録があります。翌年、昼間部家庭科が全日制課程に改

められました。夜間部の方は定時制として残り、卒業生台帳には、夜間部定時制課程の家庭科の卒業生として、昭和二十三年から三十七年まで、昭和二十五年から三十七年まで、昭和二十九年まで八年間の卒業生の氏名が記録されています。

また、昭和二十四年に商業高校と統合したことで、昭和二十六・二十七年度の二年間だけ、六名・三十名の定時制課程「商業科」卒業生の氏名の記録も残っています。(商業高校は昭和二十八年に独立)

そして、本校定時制課程の歴史は昭和二十八年の「普通科」開設をもって始まったと言えるでしょう。平成二十六年には、今までの夜間部に比べ、夜間部も開設されました。夜間部と昼間部の時間割は右記のようになりました。

徒たちが共に学べる時間が設定されています。令和四年は、定時制課程設置七十周年(昭和二十三年の定時制家庭科設置からは七十五周年)にあたり、令和四年度までの卒業生は、商業科三十六名・家庭科一五九名・普通科(昼間)一三七名(令和四年度卒業生込み含)・普通科(夜間)二八二名(令和四年度卒業生込み含)となっております。新しい川崎高校定時制が始まります。

一面担当 野村 智
 友澤 瑞恵

同窓会役員及び真玉編集委員 募集

真玉第69号にて同窓会役員を急募したところ、今回3名の新役員をお迎えすることが出来ました。しかし、まだまだ将来のことを考えますと役員及び真玉編集委員が足りません。そこで今回も大募集いたします。役員は年に12回程度(時期により集中してご出席いただく月もあり)編集委員は12月に1回、1～2月は5～6回程度の集まりがあります。詳しくは事務局に、FAX(044-211-8295)又は手紙(送り先は封筒の表に表記)にてご連絡をください。後日事務局よりご連絡を差し上げます。午後6時からの集まりになりますが、お時間に余裕がある方、同窓会に興味をお持ちの方ぜひ母校のためにお力を貸してください。

昼間部 (DAY TIME)

■昼間部は、夜間部同様にクラス単位を中心に1日4時間を行います。
 ■水曜日は、始業時間が15:50となりJタイムを夜間部と共にあります。

月・火・木・金	水
SHR 14:15~14:25	
1 14:25~	
2 15:10~	SHR 15:50~16:00
3 16:00~	1 16:00~
4 16:45~	2 16:45~
清掃 17:25~17:35	3 17:40~
	4 18:25~
	清掃 19:05~19:15

夜間部 (NIGHT TIME)

■夜間部は、従来通りクラス単位を中心に1日4時間を基本に行います。
 ■始業前と中休みに給食時間を設定し、希望者は食事をする事ができます。

月・火・水・木・金
給食 17:00~17:30
SHR 17:30~17:40
1 17:40~
2 18:25~
3 19:05~
4 19:20~
清掃 20:05~
清掃 20:45~20:15

令和四年度の 教育活動を振り返って

名誉会長 岩木 正志



日頃より、同窓会の皆様には本校の教育活動へのご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。本校の校長に就任し早くも二年が経過しようとしていますが、この間コロナ禍のまっただ中にあり、同窓会の皆様方に直接ご挨拶もできず、時が過ぎていくことが大変残念です。今年度も、感染拡大の懸念により、恒例の総会・懇親会も中止となりました。かつて教頭時代に参加させていただいた、川崎高校への愛情にあふれた心温まる懇親の場が再開できる日を祈らずにはられません。

さて、今年度の教育活動を振り返ると、昨年度のように修学旅行、神無祭の中止といった行事自体を中止にすることはなく、感染防止策を講じながら、主要な行事のすべてをこなすことを心からうれしく思っています。また、大きな行事以外にも、日々の活動から感じるのは、長く続くコロナ禍に負けず、成長を止めない生徒たちのしなやかさ、たくましさ、強さです。社会的にはいまも多くの制約が続く中で、生徒たちは粘り強く工夫を重ね、地域の寺子屋活動に参加したり、また国連WFPと連携し小さな子どもたちに食糧問題についての紙芝居を披露したり、近隣の小学校に呼びかけて古着を回収し紛争地域の子どもたちに送ったり、

学校教育目標の実現に向けて生徒全員で生活を見直し、いくつもの目をみはるような活動や提案が行われました。それも、これらは生徒主体で行われたことは特筆すべきことです。今後の持続可能な社会の実現には地域社会のもつ主体的な

力が鍵となりますが、そうした地域社会を支えるリーダー性を本校の生徒たちが途切れることなく成長させ続けていることは頼もしいかぎりです。コロナの流行は多くの学びの機会を生徒たちから奪っていますが、そのことを嘆いてばかりい

ても仕方ありません。コロナ禍でも成長を止めない生徒たちのしなやかさ、たくましさ、強さを支える教育を、今後も学校全体で推進したいと思えます。新たな変異ウイルスなどの影響で感染が拡大する一方で、社会の行動制限が

徐々に緩和され、いよいよ本場の意味でのウィズコロナによる日常生活がそれぞれの場所で開催されます。今年度こそは、現在の川崎高校の素晴らしい校風を築いていただいた各世代の同窓会の皆さまと、思い出やエピソードを交換させていただける機会の実現を願っています。そのためにも、同窓会の皆様のご健康とご活躍を心から祈り申し上げます。

末筆になり恐縮ですが、同窓会会員の皆さま方に於かれましては、日頃より本校の教育活動に関心を持っていただくと共に、物心両面にわたって本校を支援していただいておりますことに心より感謝申し上げます。今後の同窓会の更なる発展と、会員の皆様の益々のご多幸を祈念申し上げます。

陸上競技部
市制記念陸上競技大会
一般女子三千m第3位
川崎地区高校陸上
競技大会(第一大会)
一般女子三千m第3位
川崎市陸上競技
選手権大会 準優勝
川崎地区高等学校
陸上競技第二大会
第2位

バレーボール部
川崎市秋季高等学校
バレーボール大会
女子部
フロック準優勝
県高校バドミントン
新人大会川崎地区予選
女子学校対抗 第3位
卓球部
秋季市民卓球大会(高校
の部) 女子ダブルス
準優勝
美術部
第六十回大調和展

グローバル部
Stanford e-Kawasaki
(オンライン)カサキ
最優秀賞
コンピュータ部
かわさきGIGAフェスティ
バル(二〇二二タイピン
グコンテスト決勝大会)
長文部門 優勝
放送部
第六十九回NHK杯全国
高校放送コンテスト
神奈川県大会
朗読部門 優秀賞
アナウンス部門奨励賞
第三十七回神奈川県高等

生活科学科
二〇二二 三角おむすび
レシピコンテスト
優勝・準優勝
牛乳・乳製品利用
料理コンクール優良賞
食育de交流(キッチン)
川崎中学校給食会理事長賞
味の素賞
川崎市PTA連発協賛会
会長賞
国語科
第三十三回伊藤園
お〜いお茶新俳句大賞
都道府県賞
第二十三回原阿佐緒
(はらあさお)賞
奨励賞

青空の下一回で

名誉副会長 五十嵐 章 浩



今年度の体育祭は四月二十八日(木)、天候にも恵まれた心地よい日差しのもと、三年ぶりの中高合同開催で実施することができました。ここ数年、感染症予防の観点から、いわゆる三密を避けるために中学と高校で別日程での開催であったり、同日開催でも種目の時間をずらしての実施目録を講じながら、主要な行事のすべてをこなすことを心からうれしく思っています。また、大きな行事以外にも、日々の活動から感じるのは、長く続くコロナ禍に負けず、成長を止めない生徒たちのしなやかさ、たくましさ、強さです。社会的にはいまも多くの制約が続く中で、生徒たちは粘り強く工夫を重ね、地域の寺子屋活動に参加したり、また国連WFPと連携し小さな子どもたちに食糧問題についての紙芝居を披露したり、近隣の小学校に呼びかけて古着を回収し紛争地域の子どもたちに送ったり、

力か鍵となりますが、そうした地域社会を支えるリーダー性を本校の生徒たちが途切れることなく成長させ続けていることは頼もしいかぎりです。コロナの流行は多くの学びの機会を生徒たちから奪っていますが、そのことを嘆いてばかりい

ても仕方ありません。コロナ禍でも成長を止めない生徒たちのしなやかさ、たくましさ、強さを支える教育を、今後も学校全体で推進したいと思えます。新たな変異ウイルスなどの影響で感染が拡大する一方で、社会の行動制限が

徐々に緩和され、いよいよ本場の意味でのウィズコロナによる日常生活がそれぞれの場所で開催されます。今年度こそは、現在の川崎高校の素晴らしい校風を築いていただいた各世代の同窓会の皆さまと、思い出やエピソードを交換させていただける機会の実現を願っています。そのためにも、同窓会の皆様のご健康とご活躍を心から祈り申し上げます。

末筆になり恐縮ですが、同窓会会員の皆さま方に於かれましては、日頃より本校の教育活動に関心を持っていただくと共に、物心両面にわたって本校を支援していただいておりますことに心より感謝申し上げます。今後の同窓会の更なる発展と、会員の皆様の益々のご多幸を祈念申し上げます。

陸上競技部
市制記念陸上競技大会
一般女子三千m第3位
川崎地区高校陸上
競技大会(第一大会)
一般女子三千m第3位
川崎市陸上競技
選手権大会 準優勝
川崎地区高等学校
陸上競技第二大会
第2位

バレーボール部
川崎市秋季高等学校
バレーボール大会
女子部
フロック準優勝
県高校バドミントン
新人大会川崎地区予選
女子学校対抗 第3位
卓球部
秋季市民卓球大会(高校
の部) 女子ダブルス
準優勝
美術部
第六十回大調和展

グローバル部
Stanford e-Kawasaki
(オンライン)カサキ
最優秀賞
コンピュータ部
かわさきGIGAフェスティ
バル(二〇二二タイピン
グコンテスト決勝大会)
長文部門 優勝
放送部
第六十九回NHK杯全国
高校放送コンテスト
神奈川県大会
朗読部門 優秀賞
アナウンス部門奨励賞
第三十七回神奈川県高等

生活科学科
二〇二二 三角おむすび
レシピコンテスト
優勝・準優勝
牛乳・乳製品利用
料理コンクール優良賞
食育de交流(キッチン)
川崎中学校給食会理事長賞
味の素賞
川崎市PTA連発協賛会
会長賞
国語科
第三十三回伊藤園
お〜いお茶新俳句大賞
都道府県賞
第二十三回原阿佐緒
(はらあさお)賞
奨励賞

一年越しの開催

名誉副会長 田中 弘 司



令和四年のメインテーマは、昨年度の先輩たちの思いを込めて、「Batter AND NEW」を引き継ぎ、「Bette AND NEW」というメインテーマとなりました。もともとこの意味は、今までのものを更に良くするという意味の「Batteri」と新しいものをつくるという意味の「BRAND NEW」をかけたものでした。そこに、「R」(Year)という「私

クと重なってしまい、夏から準備していたにも関わらず中止になってしまいました。今年度も同じような不安を抱えながら実行委員会のスタートでした。感染対策も今以上に考え、コロナのピークと重なったとしても開催できる方向で準備を進めていけるようにみんなで意見を出し合い対策をたてていきました。制限があるなかでも、より楽しくできるような知恵を絞って準備を進めました。保護者の参観、同窓会PTAの参加等の許可もきれ開催することができました。今年も飲食関係はできなかったため、各チームが工夫をし、クイズ大会を開催したり、狭い教室の中で

コースを考え、人力ジェットコースターをつくってみたいと楽しそうに組んでいました。ステージ発表をしたルームでは、ミュージカルを上演し、歌ったり、演奏したり、ドライアイスを利用したり、とても完成度の高いものでした。生活科学科のファッションショーもメインテーマを「無形を展示しました。見学に訪れた生徒は、「昔の制服がかわいい」とか「以前の校舎の方が学校らしい」と感想を述べていました。一番興味を引いていたのが、卒業アルバムで、若い先生方を披露してくれました。どの発表も二年ぶりともあり、とても気合いが入っていました。それが楽しんでもらえたことが嬉しかったです。生徒の中には、同窓会役員の方に以前の学校の様子を質問してみたりと、会話も弾み、生徒にとって今この違いを知るよい機会になったように思います。

今年度は、コロナのピー

学校総合文化祭放送
情報部門大会
アナウンス部門第6位
生活科学科
二〇二二 三角おむすび
レシピコンテスト
優勝・準優勝
牛乳・乳製品利用
料理コンクール優良賞
食育de交流(キッチン)
川崎中学校給食会理事長賞
味の素賞
川崎市PTA連発協賛会
会長賞
国語科
第三十三回伊藤園
お〜いお茶新俳句大賞
都道府県賞
第二十三回原阿佐緒
(はらあさお)賞
奨励賞

生活科学科
二〇二二 三角おむすび
レシピコンテスト
優勝・準優勝
牛乳・乳製品利用
料理コンクール優良賞
食育de交流(キッチン)
川崎中学校給食会理事長賞
味の素賞
川崎市PTA連発協賛会
会長賞
国語科
第三十三回伊藤園
お〜いお茶新俳句大賞
都道府県賞
第二十三回原阿佐緒
(はらあさお)賞
奨励賞

「余韻」というのが行われ、神無祭が無事に開催することができました。最後に配付されたペンライトでキャンドルファイヤーを行いました。厳かな雰囲気の中で神無祭全体を締めくめることができました。今回の神無祭は、昨年の思いも継承しつつ、できることをみんなで考え、協力して開催することができました。制限の中で楽しむことができた皆さんの協力のもと試行錯誤しながら進めていければと思います。今後、いろいろな場面でのご理解とご協力をお願いいたします。

「余韻」というのが行われ、神無祭が無事に開催することができました。最後に配付されたペンライトでキャンドルファイヤーを行いました。厳かな雰囲気の中で神無祭全体を締めくめることができました。今回の神無祭は、昨年の思いも継承しつつ、できることをみんなで考え、協力して開催することができました。制限の中で楽しむことができた皆さんの協力のもと試行錯誤しながら進めていければと思います。今後、いろいろな場面でのご理解とご協力をお願いいたします。

「余韻」というのが行われ、神無祭が無事に開催することができました。最後に配付されたペンライトでキャンドルファイヤーを行いました。厳かな雰囲気の中で神無祭全体を締めくめることができました。今回の神無祭は、昨年の思いも継承しつつ、できることをみんなで考え、協力して開催することができました。制限の中で楽しむことができた皆さんの協力のもと試行錯誤しながら進めていければと思います。今後、いろいろな場面でのご理解とご協力をお願いいたします。

「余韻」というのが行われ、神無祭が無事に開催することができました。最後に配付されたペンライトでキャンドルファイヤーを行いました。厳かな雰囲気の中で神無祭全体を締めくめることができました。今回の神無祭は、昨年の思いも継承しつつ、できることをみんなで考え、協力して開催することができました。制限の中で楽しむことができた皆さんの協力のもと試行錯誤しながら進めていければと思います。今後、いろいろな場面でのご理解とご協力をお願いいたします。

「余韻」というのが行われ、神無祭が無事に開催することができました。最後に配付されたペンライトでキャンドルファイヤーを行いました。厳かな雰囲気の中で神無祭全体を締めくめることができました。今回の神無祭は、昨年の思いも継承しつつ、できることをみんなで考え、協力して開催することができました。制限の中で楽しむことができた皆さんの協力のもと試行錯誤しながら進めていければと思います。今後、いろいろな場面でのご理解とご協力をお願いいたします。

「余韻」というのが行われ、神無祭が無事に開催することができました。最後に配付されたペンライトでキャンドルファイヤーを行いました。厳かな雰囲気の中で神無祭全体を締めくめることができました。今回の神無祭は、昨年の思いも継承しつつ、できることをみんなで考え、協力して開催することができました。制限の中で楽しむことができた皆さんの協力のもと試行錯誤しながら進めていければと思います。今後、いろいろな場面でのご理解とご協力をお願いいたします。

「余韻」というのが行われ、神無祭が無事に開催することができました。最後に配付されたペンライトでキャンドルファイヤーを行いました。厳かな雰囲気の中で神無祭全体を締めくめることができました。今回の神無祭は、昨年の思いも継承しつつ、できることをみんなで考え、協力して開催することができました。制限の中で楽しむことができた皆さんの協力のもと試行錯誤しながら進めていければと思います。今後、いろいろな場面でのご理解とご協力をお願いいたします。

「余韻」というのが行われ、神無祭が無事に開催することができました。最後に配付されたペンライトでキャンドルファイヤーを行いました。厳かな雰囲気の中で神無祭全体を締めくめることができました。今回の神無祭は、昨年の思いも継承しつつ、できることをみんなで考え、協力して開催することができました。制限の中で楽しむことができた皆さんの協力のもと試行錯誤しながら進めていければと思います。今後、いろいろな場面でのご理解とご協力をお願いいたします。

「余韻」というのが行われ、神無祭が無事に開催することができました。最後に配付されたペンライトでキャンドルファイヤーを行いました。厳かな雰囲気の中で神無祭全体を締めくめることができました。今回の神無祭は、昨年の思いも継承しつつ、できることをみんなで考え、協力して開催することができました。制限の中で楽しむことができた皆さんの協力のもと試行錯誤しながら進めていければと思います。今後、いろいろな場面でのご理解とご協力をお願いいたします。

「余韻」というのが行われ、神無祭が無事に開催することができました。最後に配付されたペンライトでキャンドルファイヤーを行いました。厳かな雰囲気の中で神無祭全体を締めくめることができました。今回の神無祭は、昨年の思いも継承しつつ、できることをみんなで考え、協力して開催することができました。制限の中で楽しむことができた皆さんの協力のもと試行錯誤しながら進めていければと思います。今後、いろいろな場面でのご理解とご協力をお願いいたします。

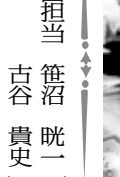
「余韻」というのが行われ、神無祭が無事に開催することができました。最後に配付されたペンライトでキャンドルファイヤーを行いました。厳かな雰囲気の中で神無祭全体を締めくめることができました。今回の神無祭は、昨年の思いも継承しつつ、できることをみんなで考え、協力して開催することができました。制限の中で楽しむことができた皆さんの協力のもと試行錯誤しながら進めていければと思います。今後、いろいろな場面でのご理解とご協力をお願いいたします。

全校集会で校内表彰 12月23日



新俳句大賞入賞
昨年度末に旧一学年現代文の授業で応募した、「第三十三回伊藤園お〜いお茶新俳句大賞」にて、二年Fルームの福島拓さんが「都道府県賞」を受賞しました。プレバトの夏井いつき先生や作家の宮部みゆき先生などの著名な方が審査を行っていただきます。福島さんの俳句はお〜いお茶(ペットボトルラベル)と、HP(https://toen-simihaku.jp/archives/33/todou/?p=2)に掲載されています。

二面担当 笹沼 暁一



古谷 貴史

小ななのおひこ越し

昭和二十一年卒 柳田久江

昭和四年(一九二九年)東京府(一九四三年に東京都に改定)に生まれた。私が病弱だった為、自然の多かった川崎市へ(新川通りがまだ大溝だった)昭和七年転居尋常高等小学校から国民学校となった小学校生活を経て、昭和十七年あこがれの川崎市立川崎高等女学校へ入学(当時五年制)。

淡い夢見た女学校生活も東の間、戦争が厳しくなり、学業よりも動員々々で、昭和二〇年四月の川崎市大空襲で一夜にして、家と共に父も失った。返すの姉の家身を寄せたが、こどもも連日横穴防空壕に避難、やっと終戦。

母校も全焼、南河原国民学校にて授業再開するも、教科書も物資も乏しい中、入学時の半数、百二十五名の寂しく、悲しい卒業式が。

コロナ禍の神無祭

神無祭実行委員長 2F 古田幹人

今年初の神無祭は、コロナ禍で初の二日間開催でし。感染症への対策として、飲食物の販売禁止など、様々な制限があり、思うようにできないこともありましたが、各クラスや部活動などの多くの団体が発表や出し物をしていました。クラスの出し物の人気投票をとったところ、三年生の劇や一年生のお化け屋敷ものが知らなかったため、一からの計画でも苦労しました。

しかし、想定を遙かに超える生徒が参加をし、バンドやダンスなどの発表で盛り上がりました。

水木一郎・笠浩二(C・C・B)等の歌も織り交ぜながら、揚げ物やたこ焼き等のコース料理をいただいたり、三時間の歌い切りが、しゃべり足りない私たちがはいつもの「サイゼリヤ」に場所を移し陽が沈む頃解散となりました。

二年間の空白を埋める様に昨年同様五回も集まることになりました。青春時代を共に過ごした絆はコロナで中断されたくらいでは切れません。そして昨年一月に集まった時「チーム市川」の名前でグループLINEを始めた。また全員(十名)参加ではありませんが、毎日のようにLINEでなげない出来事をトクしてあります。

皆還暦になりましたが、これからも、いつまでも年に数回集まる仲間でありたいと思っております。

「チーム市川」女子会

昭和五十八年卒 友澤 瑞恵

新型コロナ感染症により二年間集まれなかった私たちが、昨年は様子を見ながら集まること出来ました。

一月九日に川崎大師の初詣を兼ねて七名が二年振り集まりました。おしゃべりをしながら参道をぶらぶらし、お大師様にそれぞれのお願いをしました。参拝の後は門前のそば屋に入りお食事、二年間の積もる話で時間を忘れおしゃべりしました。

四月二日にはお花見を兼ねて、平成十二年に亡くなった同級生のお墓参りに四名が集まりました。持参したお菓子を墓前に供え、若くしてこの世を去った友を偲びました。その後、霊



入所して見て看護師、介護福祉士、介護支援専門員等、本当に皆様優しく温かく手を握り合って、私達老人を先輩として大切に扱ってくださいます。そのような姿勢に、日本に生まれてよかったと、心から感謝している日々です。

川崎高校にも福祉科があったようにおもいます。将来の長寿社会に優しい天使が沢山育つて下さる事を期待しております。

まずまずの母校の発展を心より祈り上げます。つたない文章、お許し下さいませ。



1Eルーム 催し物会場

弥生祭を体験して

二年Eルーム 宮山 桜月

弥生祭は三科合同の学習発表会です。一年生の代表チームに選ばれて若干名高々に行つたものの、二年生の発表内容を圧倒されたのを感じています。発表のほとんどは進行の都合上、舞台裏で聴いていました。

各学科の発表は知らないことばかりで、新たな見識が身についたというのがあります。一番は日頃、部活動や他の行事で関わっている友人たちがどういったことをしているのか、改めて知ることができたのが魅力だとも思います。

さて、私事になりますが私の所属する、しがーれずゼミは前述の通り、弥生祭の場で研究内容の発表をさせてもらいました。アプストラクト、プレバネ、発表原稿等、本日にゼミ生全員がよくやってくれたと思います。しかしやはりトランプというのはつきもので、

キングスカイフロント

一年Cルーム 遠藤 心

一学年では、十月にキングスカイフロントで校外学習を行いました。そこでの学びを通して、私はキングスカイフロントでの研究は医療の発展において世界を大きく変えていくと思えました。

キングスカイフロントには数多くの医療関連の企業や研究所があります。今までの対処できなかった病気に治療薬を作ることができるといふことを学びました。

このようにキングスカイフロントでは医療関連の研究を積



医療関連の研究を積む

同窓会顧問になって

同窓会顧問 藤山 昭子

九月、本校に勤務して四年目の私にとって三回目の神無祭が開催されました。制約のある開催でしたが、生徒たちは工夫を凝らし、大いに盛り上がった神無祭となりました。

同窓会も一室を借り、展示のみの参加をしました。入り口には人目を引く一代歩入ると昭和初期の校舎の写真と和服姿の生徒の集合写真、京浜急行が地面を這って走る川崎駅前の巨大な写真たちに囲まれます。一瞬にして当時タイムスリップした感覚に陥ります。さらに乾いた土埃と海風が混ざりあつた匂いが、古い校舎のきしむ音や、

極的に取り組むことができない環境が整っており、そこにある企業や研究所は常に最新の最先端にいることが分りました。今回の校外学習を通して、キングスカイフロントには医療に親密な関係にある企業や研究所が集中していることに気づきました。さらに、日本中から多くの人が集まる羽田空港が近くにあり地球規模での連携が可能であるということにも気づきました。

このようにキングスカイフロントでは医療関連の研究を積む

福祉・介護とは

福祉科教員 佐藤 智広

昨年八月二十日(土)、小学生を対象とした体験授業を行いました。これは小学生に「福祉とは何か、介護とは何か」について体験を通して学んでもらうことに、「高校福祉科の生徒たちが普段どのような学習をしているのかを知ってもらいたい」という願いを込めて企画しました。体験授業では「移乗の介護」を行いました。ヘッドの端に座っている高齢者を車いすに移乗するという事例で行いました。私たち健常者はみるうちに上達しました。

簡単にできるかもしれませんが、しかし高齢になり、体力の低下や手足に障害があるとヘッドから車いすに移るだけでも時間がかかり、一つひとつの介護に知識や技術が必要です。そのことを十分に学んでから小学生に実際の介護を体験してもらいました。いざ介護体験となると最初は戸惑い、上手いかない子どもたちもいましたが、福祉科の生徒たちが丁寧にアドバイスをすると、子どもたちはみるみるうちに上達しました。



福祉科教員 佐藤 智広

蛇足ですが、私は発表中に「蛇足」のセリフを失念しました。勿論、一年目の研究が二年目の先輩方に劣ることは承知の上です。

だからこそ次の弥生祭ではリベンジを果たし、自分たちの、もっと深まった研究成果をお届けできればと思います。

そして最後は、子どもたちが自分の保護者を介護するというサブプライムもありました。明るく笑顔で介護する姿に会場は笑いに包まれました。

最近では、若い世代の「介護離れ」が進んでいます。厚生労働省によると、介護福祉士養成課程を持つ専門学校など養成校の入学者は二〇〇六年には、二万人近くでしたが、近年は六割少ない七千人台で推移しているそうです。この波は確実に高校福祉科にも押し寄せています。介護は、体の不自由な方の生活の支援をし、その方の人生に寄り添う大変すばらしい仕事だと思

思います。一人でも多くの小学生に介護体験を通して川崎高校福祉科を知ってもらうために、これからもこのような活動を続けていきたいと思

今年度同窓会顧問の担当になりました佐藤康徳と申します。私は小生のときから川崎市に住んでいるため地元採用の教員です。川崎高校は歴史の長い学校なので、当然私が学生のときも存在していた学校です。そのときの印象として思い出します。

近年新型コロナウィルスの影響で行動制限されていますが、今年度体育祭では三年ぶりに中高同時開催、神無祭では保護者一般公開と、徐々に活気ある学校生活に戻ってきていることを嬉しく思います。また、生徒はコロナ禍の中でも、今出来ることは何かを考え、工夫しながら行事に取り組む姿に非常に感心しました。今後も皆様と一緒に川崎高校の発展のために関わりたいと思

三担当 江守千恵子
寺地美恵子
河野 朋子

令和三年・四年度 寄付金をいただいた方

令和三年・四年度特別会費(寄付金)をご寄付いただいた方々の芳名を公表させていただきます。謝の意を表し領収にかえさせていただきます。ありがとうございます。敬称略順不同(旧姓)

- 令和三年・四年度 寄付金
令和四年一月十一日迄
令和五年一月十日迄
〇総額 百二十七件
〇七十一万六千二百二十二円

同窓会員の皆様へお願い

毎年、同窓会報の発行時期になりますと、会報の送付先変更や、送付停止希望等のご連絡のお電話をいただきます。しかしながら、高校には、同窓会事務の担当者が常駐していないため、高校職員が電話の対応を行い、後日、メモで同窓会事務局に内容が伝えられます。お手数ですが、何かと間違いの生じる場合もありますので、より正確さを期するためにも、今後、同窓会事務局へのご連絡につきましては、書面(郵便またはFAX)により下記宛てでご連絡をいただきますようご協力をお願いいたします。

住所変更はご連絡を
「真玉」をお送りしても宛先不明で返却されることがあります。

住所変更をされた方も事務局までご連絡をお願いいたします。なお、クラス会・同期会で同窓生の新住所を入手された方も事務局までご連絡をしてください。

本人に確認し、名簿を修正いたします。
◎寄稿のお願い!
同窓会にご意見や、クラス会・同期会・ご友人の集まり等、近況をお寄せ下さい。12月末日迄にお願い致します。下記ファックス、郵送にてお願いします。

〇郵送先住所
〒210-0806
川崎市川崎区中島3-3-1
川崎市立川崎高等学校 同窓会事務局 宛
〇FAX 044-211-8295

同窓会より
お礼とお祝い
今年も同窓会にご寄付をいただき感謝申し上げます。毎年少づつではありますが、同窓会への温かい思いや、同窓会への思いが伝わり、お送りいただく大勢の皆様のおかげです。ありがとうございます。お送りいただきましたご寄付は、同窓会活動や母校発展のために大事に使わせていただきます。

- 昭和四十九年卒 齋藤岳至
昭和五十年卒 田中仁
昭和五十年卒 伊藤賢治
昭和五十年卒 伊藤賢治
昭和五十年卒 伊藤賢治
昭和五十年卒 伊藤賢治

かわさきさんぽ
キングスカイフロント
成長戦略拠点の形成を支える重要な一部になります。多摩川河口敷でのジョギング・サイクリング等のリバーサイドライフに加え、「川崎キングスカイフロント東急R.E.I.ホテル」では、ただ宿泊するだけではなく、エクスサイズや多摩川を眺める大浴場でのリフレッシュ、羽田空港の夜景を楽しむレストラン、散歩で立寄るの食事等々。羽田空港見学の出発点・帰着点として、いかがですか?

先生方の異動

- 令和四年三月付
退職
浅沼 宏先生 副校長
小倉 大典先生 英語科
河野 利智先生 英語科
相馬虎之介先生 保健体育科
丸山真一郎先生 英語科
外山 瑞穂先生 英語科

令和3年度 事業報告
4月6日 入学式
24日 真玉編集会議(9名出席)
28日 真玉編集会議(9名出席)
31日 真玉校正(8名出席)
4月19日 役員会・総会は開催せず
3月1日 真玉69号発行(約11,200通配布)

令和3年度 通常会計決算報告
収入の部
項目 予算額 決算額 差引残額 摘要
繰越金 1,245,771 1,245,771 0 令和2年度より

編集後記
編集を通してコロナ禍での学校の授業や行事への取り組みを知ると、様々な制限がある中で、「何なら出来る生徒の為に出来るのか」という親心のようなものを感じ取れました。自分が高校生の頃は、福祉科での授業や実習に忙殺され、先生や学校がどれだけ支えてくれているかを気付く事が出来ていませんでした。

四面担当 伊藤三千代
城戸せつ子